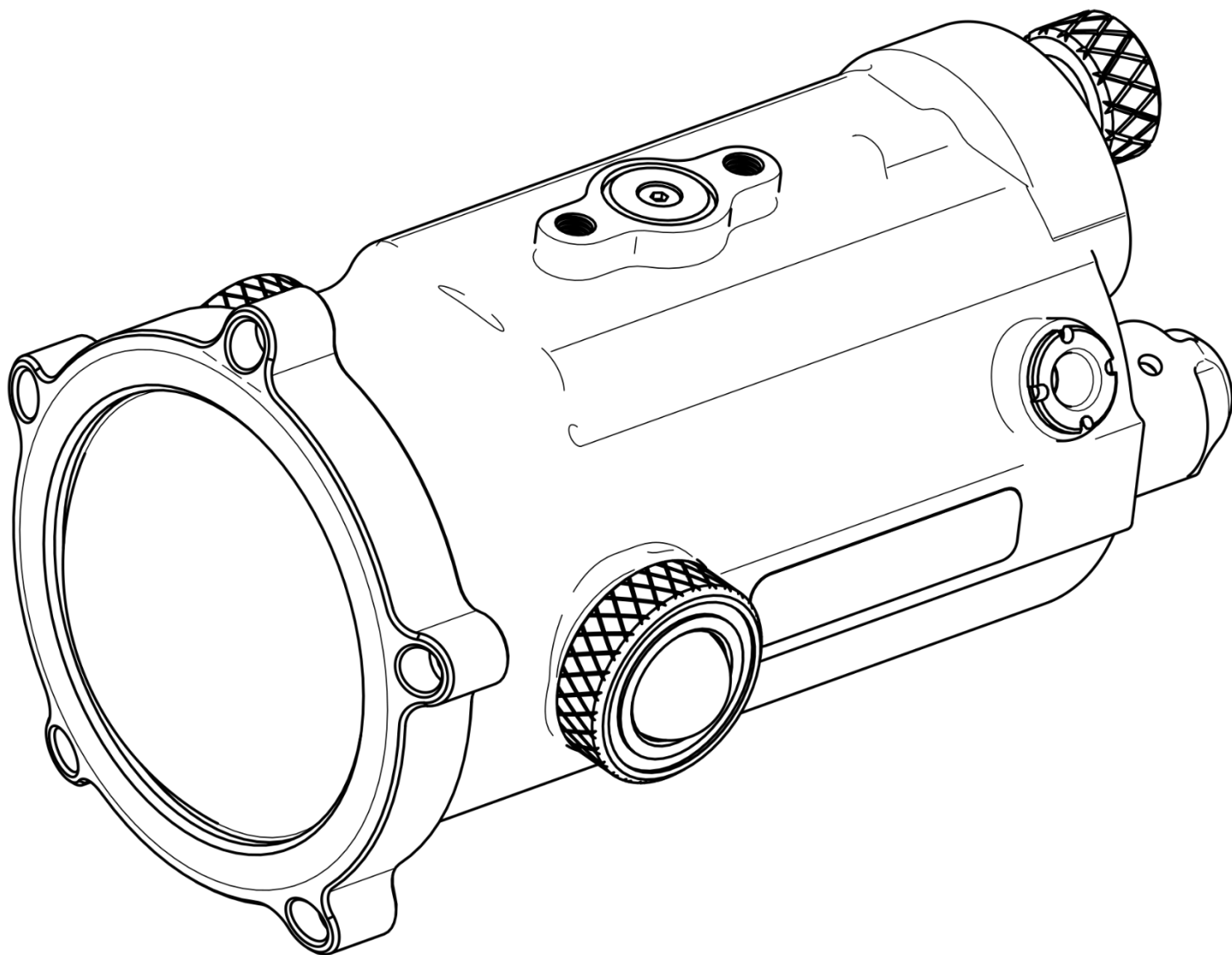


MARELUX

Apollo S ストロボ

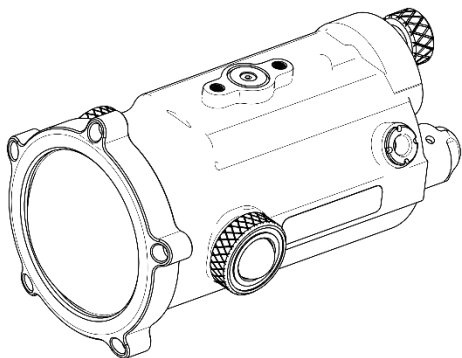


取扱説明書

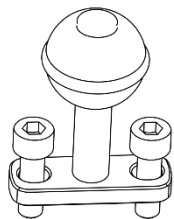
製品をご使用になる前に、本取扱説明書を必ずよくお読みいただき、内容を十分に理解した上で正しくお使いください。

<https://www.marelux.co/>

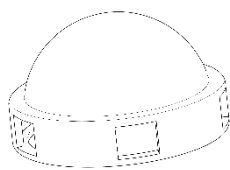
同梱内容



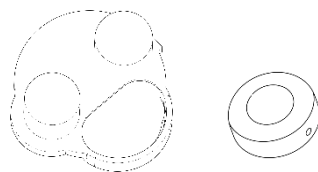
Apollo S ストロボ



マウンティングボール



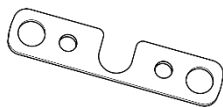
ドームディフューザー



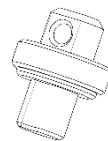
保護カバー



Oリング ×2



ランヤードシート



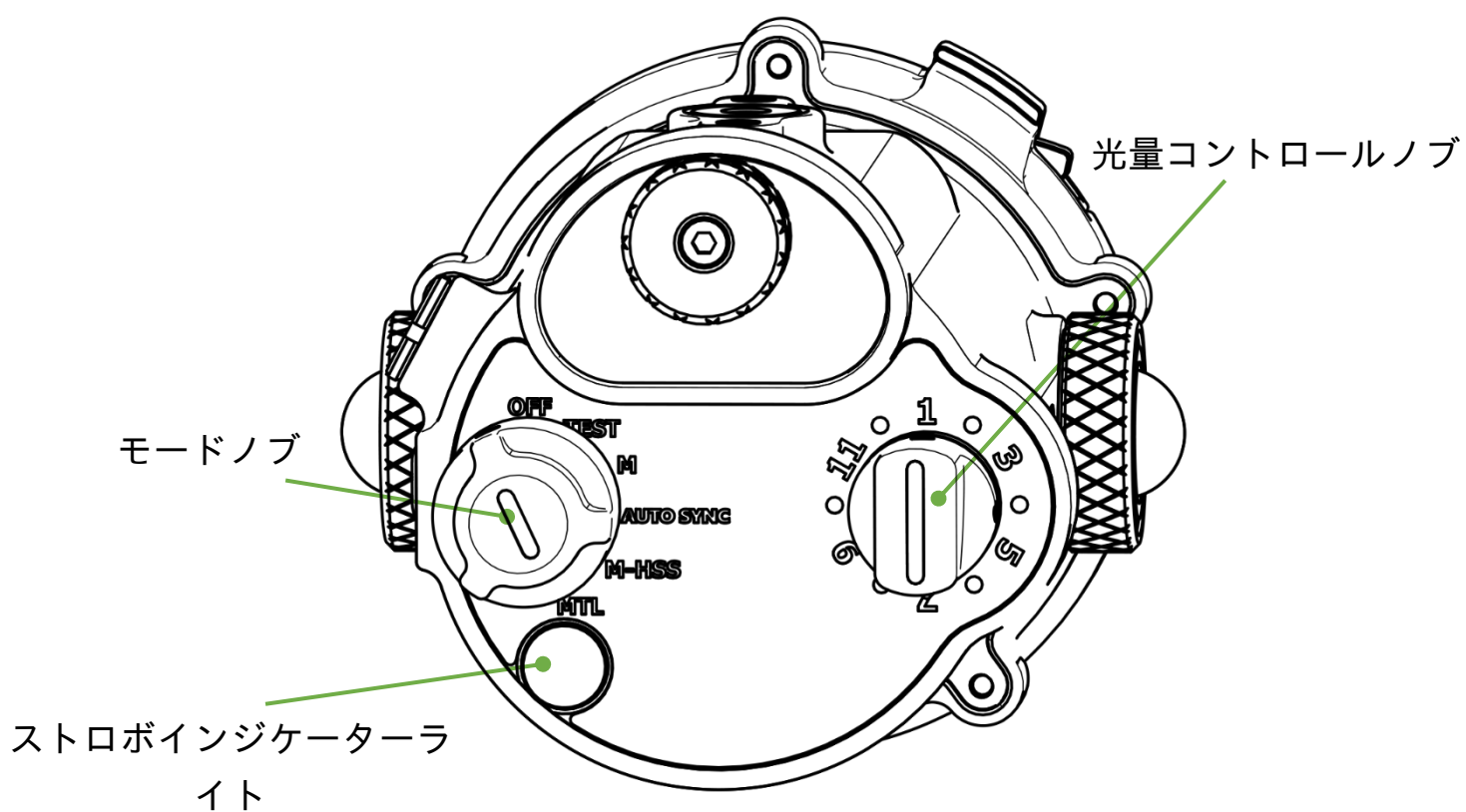
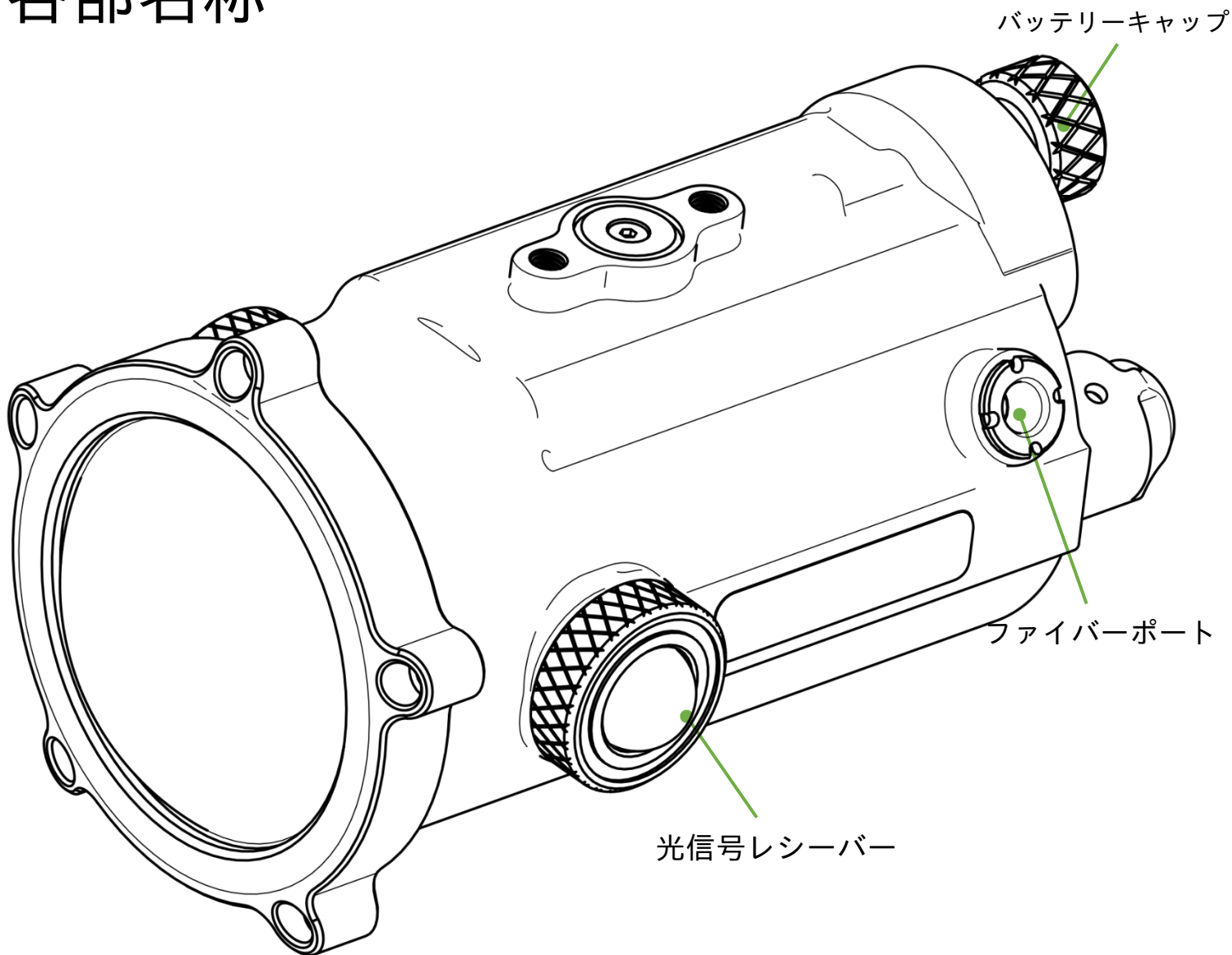
ファイバーポートプラグ

製品特徴

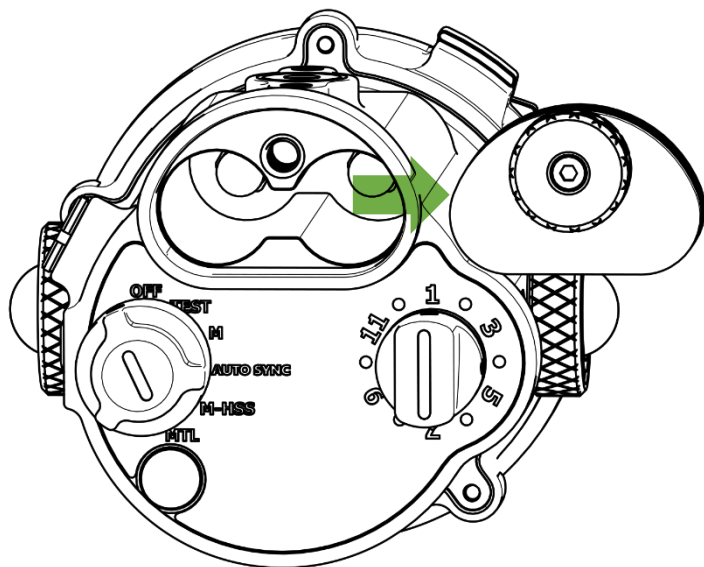
1. TTL、RC、HSS、ワイヤレストリガーに対応(TTL、HSS、RCモードの使用には対応するフラッシュトリガーが必要です)
2. 特別設計のMTLモードを搭載し、連続発光に対応
3. 魚眼レンズ式ワイヤレス受光センサーを2基搭載。さらに光ファイバーポートを1基搭載、受光角160°。ワイヤレストリガーはM、MTL、HSSモードに対応(TTL、RCモードの使用には光ファイバー接続が必要)
4. ガイドナンバー(IS0100):36(陸上でのテスト値)
5. 照射角:110°(水中)
6. 色温度:6200K
7. ドームディフューザー使用時:照射角140°、色温度5500K
8. フル発光時のリサイクルタイム:0.9秒
9. サイズ:最大直径70mm、本体長140mm、全長(ノブ含む)160mm
10. 陸上重量:720g(バッテリーなし、ボールマウント付き)、813g(18650バッテリー2本、ボールマウント付き)
11. 水中重量:150g(18650バッテリー2本、ボールマウント含む)
12. バッテリー:18650リチウムバッテリー×2(放電電流20A以上)、合計93g
13. 防水バッテリーチャンバー
14. フル発光回数:約800回
15. 耐水深度:100m
16. Lumilink 2.0ワイヤレストランスミッター使用時、カメラのシャッタースピードS 1/200まで同調可能。浅場や強い日差しの下では2m程度、深場や薄暗い環境では10m以上まで安定した接続を維持します。

トリガー用の光信号は暗号化されており、混信を防ぐ耐妨害設計となっています。

各部名称

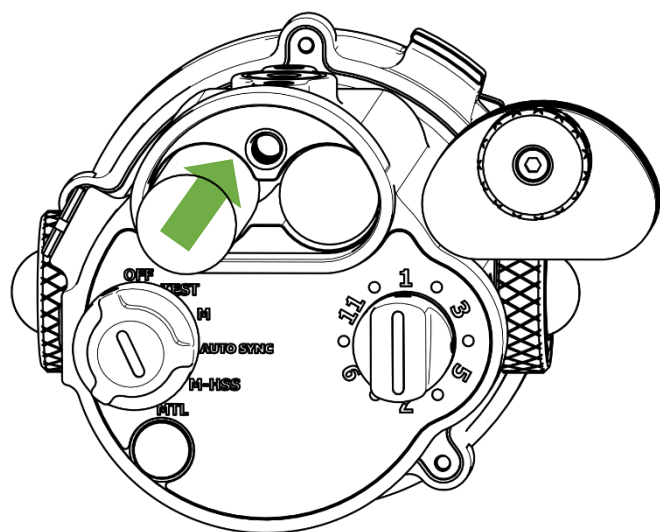


バッテリーの取り付け



バッテリーの交換・取り付けの際は、必ずモードノブが「OFF」位置になっていることを確認してください！

バッテリーキャップをゆっくり反時計回りに回して取り外します。



バッテリー室に表示された極性に従って、18650リチウムバッテリーを2本挿入します。

(本ストロボには、放電電流20A以上・電圧3.7Vの18650リチウムバッテリーが2本必要です。一般的な18650バッテリーでは動作しません。)

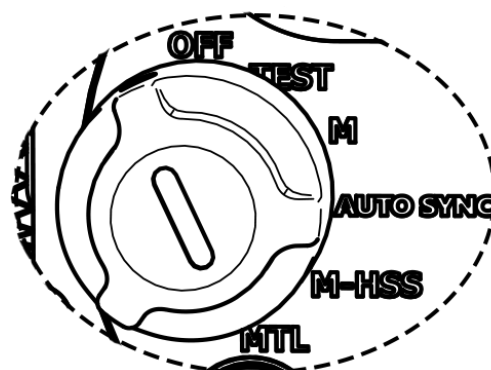
操作方法

モードノブ

OFF 電源をオフにします。ストロボを使用しないときは

モードノブを[OFF]に切り替えてください。

TEST このモードでは、ストロボの動作状態をテストできます。モードノブを押すとストロボが発光します。



M 光量を手動(マニュアル)で設定するには、Mモードに切り替えます。

(警告!Mモードの発光レベル12で100回を超える高速連写を行うと、ドームのコーティング劣化や内部構造の変形を引き起こす可能性があります。Mモードでの高頻度連写は行わないでください。また、本製品は必ず水中でのみ使用してください!)

AUTO SYNC TTL発光で撮影する場合はAUTO SYNCモードに切り替えます。(このモードの使用にはTTLモード対応のフラッシュトリガーが必要か、お使いのOlympusカメラをRC-TTL AUTOに設定する必要があります)

M-HSS ハイスピードシンクロで撮影する場合はM-HSSモードに切り替えます。(このモードの使用にはHSSモード対応のフラッシュトリガーが必要です)

(警告!M-HSSモードでは、1分間に30回を超える連続発光を行わないでください!)

MTL 連写撮影を行う場合はMTLモードに切り替えます。光ファイバー接続でMTLモードを使用する場合、すべての光量設定で最大10コマ/秒の連続発光に対応します。(コンパクトカメラをオート発光モードまたは日中シンクロモードで使用する場合は、MTLモードに切り替えてください)

ワイヤレストリガーモードで連写撮影を行う場合、発光が一部抜けることがあります。ワイヤレストリガーモードのMTLにおける、光量設定ごとの連続発光可能回数は以下の通りです(下表は次ページに掲載)。

光量レベル	連続発光可能回数
1	10/s
2	
3	
4	
5	
6	8/s
7	6/s
8	6/s
9	5/s
10	4/s
11	4/s
12	2/s

バッテリー残量が半分以下の場合、MTLモードでの連写は行わないでください！

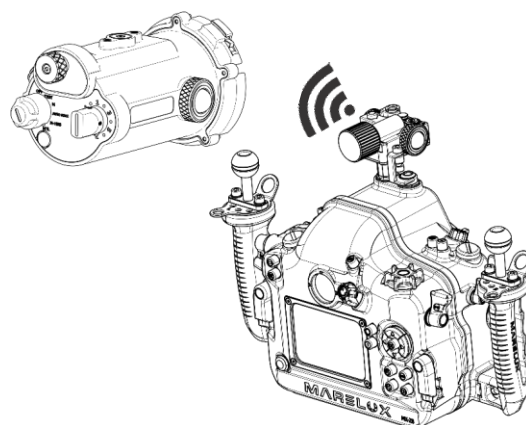
ワイヤレストリガーモード

ワイヤレストリガーモードを使用するには、信号送信機としてLumi link光トランスミッターが必要です。ストロボの電源を入れた際、ワイヤレストリガーモードは初期状態では無効になっています。

テストモード以外の状態で、モードノブを2秒間長押しすると、「ピッ」という音が4回鳴り、ワイヤレストリガーモードが有効になります。（ワイヤレストリガーはM、M-H SS、MTLモードで使用できます）

モードノブを2秒間長押しすると、「ピッ」という音が2回鳴り、ワイヤレス発光モードが無効になります。

水中における光信号レシーバーの受信距離は、透明度や太陽光の明るさによって2m～10m以上となります（強い日差しの下では、光信号レシーバーの有効受信距離は60～70cm、受信角度は50～60度になります）



ストロボインジケータライト

ストロボインジケータライトの発光色は、バッテリー残量に応じて変化します。発光色は下表の通りです。

バッテリー残量	発光色
80~100%	青
60~80%	緑
40~60%	黄
20~40%	紫
0~20%	赤

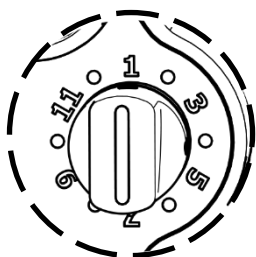
ストロボインジケータライトが赤色でバッテリー残量低下を示している場合、バッテリー損傷を防ぐため発光機能の使用は控えてください。

電源投入後、ストロボは10秒間のプリヒート(予熱)を行い、その間インジケータライトは赤色のままになります。プリヒートが完了してからストロボをご使用ください。

ストロボが過熱すると、過熱保護機能が作動し発光が停止します。インジケータライトが黄色に変わった場合は、数分間冷却してください。

光量コントロールノブ

光量は12段階で調整できます：



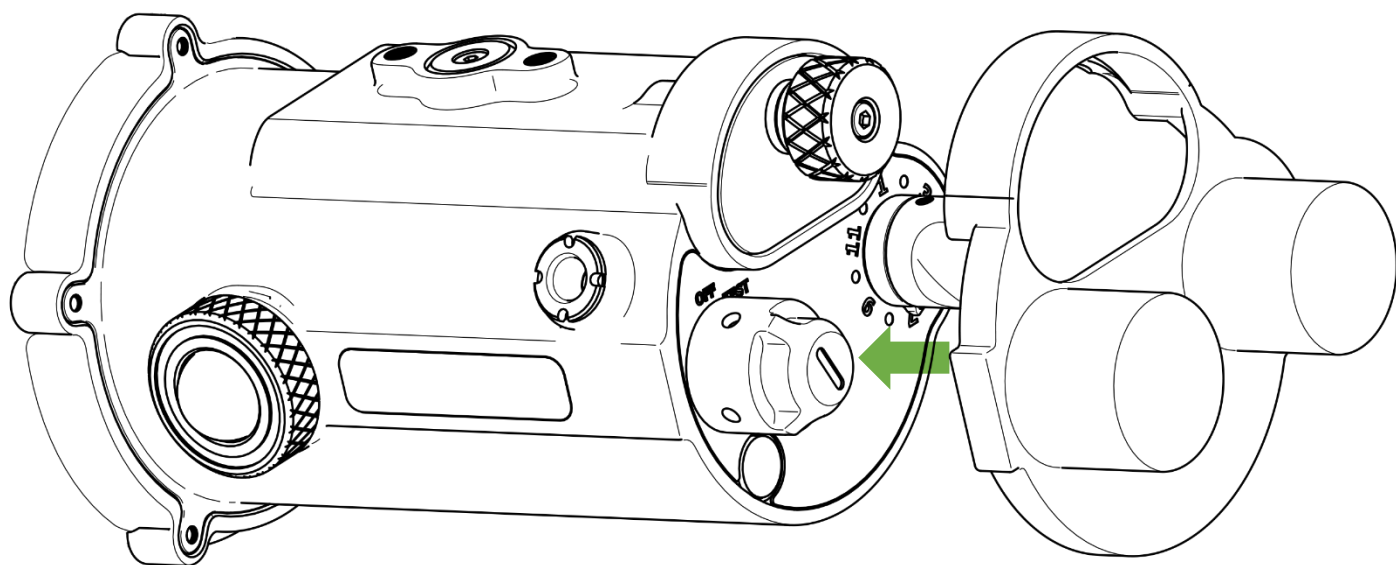
						Mモード							
レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
GN	4.8	5.6	6.8	8	9.5	11	13.5	16	19	22	27	36	

						MTLモード							
レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
GN	1.0	1.4	2.0	2.8	4.0	5.6	8	9.5	11	13.5	16	19	

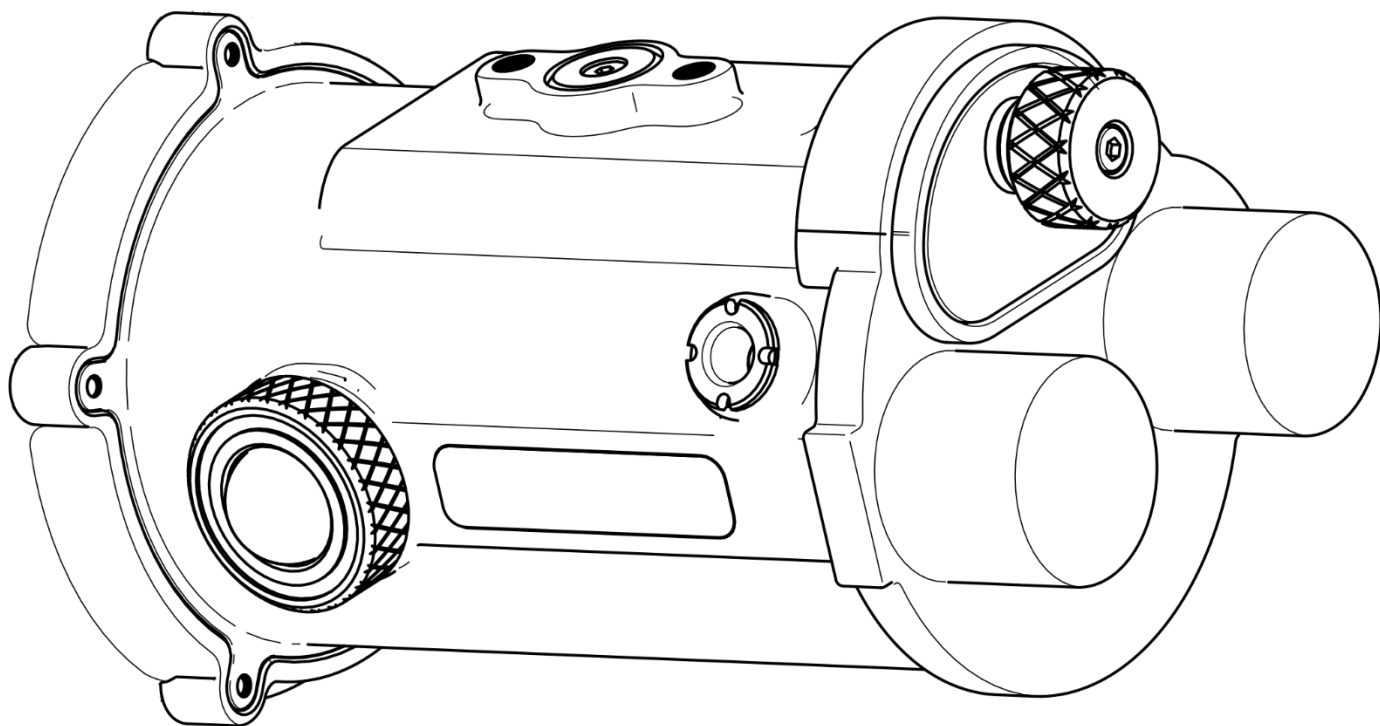
発光管の寿命は、フル発光100万回のサイクルでテストされています。

最長の寿命と安全性を実現するため、Apolloの電子部品は冗長電源設計となっており、低出力時の発光にわずかな明るさのばらつきが生じる場合があります。Mモードではレベル3以下、MTLモードではレベル6以下で、この明るさのばらつきが見られることがあります。

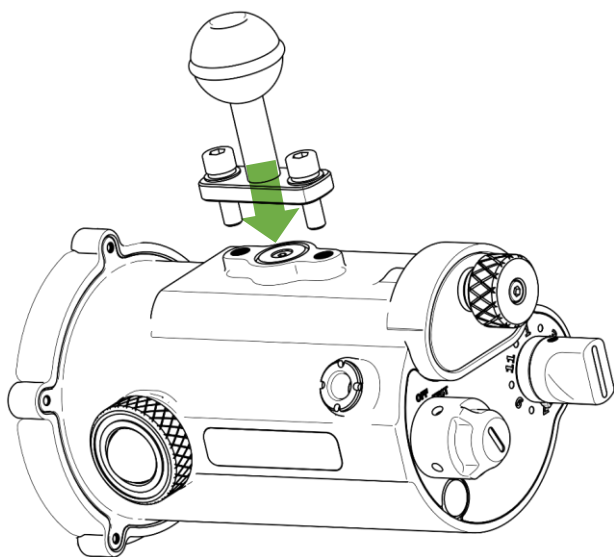
保護カバーの取り付け



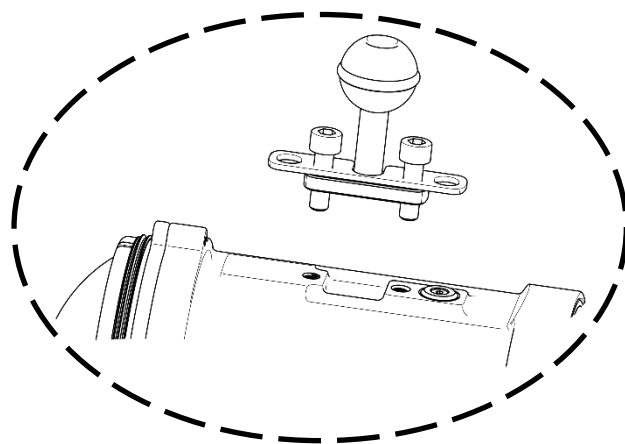
図のように保護カバーをストロボの向きに合わせます。



マウンティングボールの取り付け

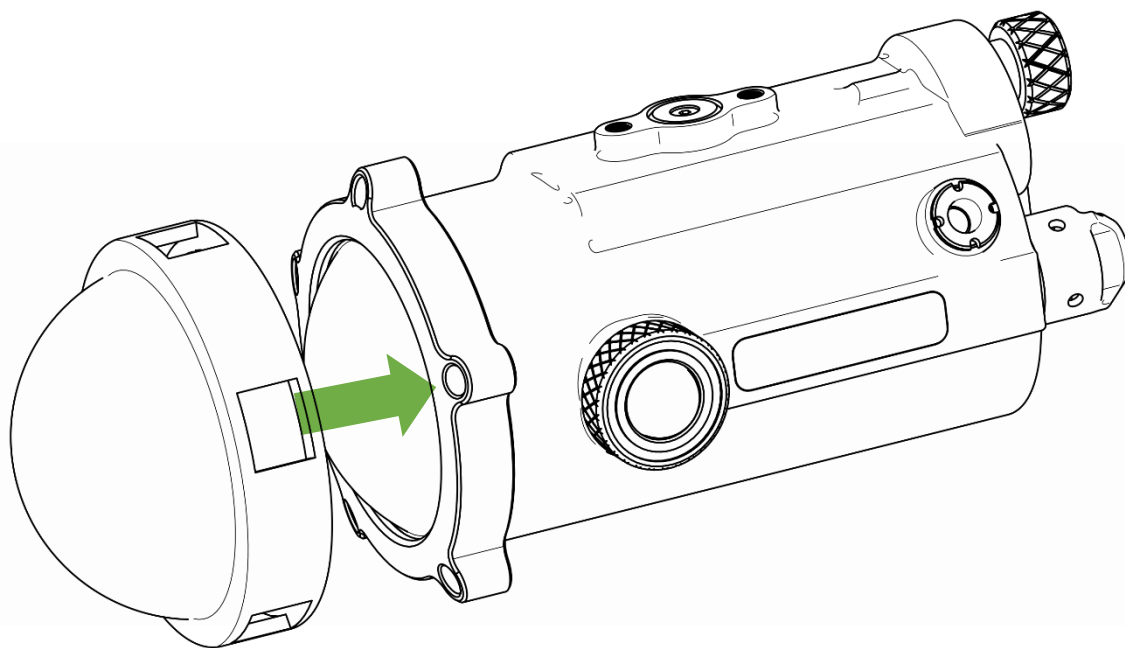


図の向きに合わせ、ネジ2本でマウンティングボールを取り付けます。



図の向きに合わせ、ネジ2本でラ
ンヤードシートを取り付けます。

ドームディフューザーの取り付け



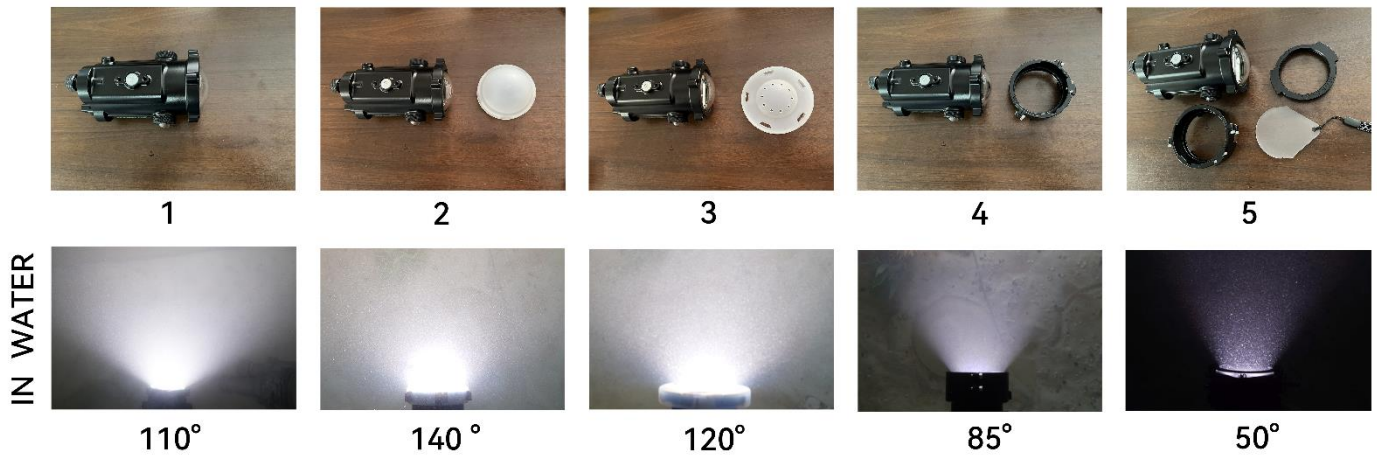
図のようにディフューザーの穴をストロボの突起に合わせ、取り付けます。

メンテナンスと保管

1. ダイビング後は、ストロボがロック・密閉されていることを確認し、本体を真水で洗淨してください。
2. 真水に浸けている間に各ボタンを数回押すことで、塩分や砂を排出しやすくなります。
3. ドームのガラス面は柔らかい布で拭いて清掃してください。
4. 潜水後は毎回Oリングを清掃し、損傷がないか確認してください。
5. ストロボ本体とアクセサリーの持ち運びには、頑丈で耐衝撃性のあるケースを使用してください。
6. 直射日光や高温にさらされる車内にストロボを長時間放置しないでください。
7. バッテリーが満充電になったら充電を止め、過充電による損傷を防いでください。
8. ストロボを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
9. 本製品は10歳未満のお子様の使用・遊具としての使用を禁止します。

Apollo S 装着アクセサリー別の照射角

Apollo S



2- Apollo S ドームディフューザー

3- Apollo S ディフューザー

4- Apollo S ドック

5- Apollo S ドック+外部スロット+フラットディフューザー

保証

1. Mareluxは、ハウジング本体およびケーブル類(光ファイバーケーブル、HDMIケーブルなど)について2年間、シリコン・ゴム・プラスチック製の電子部品については1年間の保証を提供します。
2. Mareluxは各モデルの生産終了(EOL)後5年間、修理・メンテナンス用の部品を保管します。この期間を超えると、当該製品の修理対応ができない場合があります。
3. 以下の理由による修理は、2年間の保証期間内であっても有償となります。
 - 本取扱説明書に記載された仕様・注意事項に従わない誤った使用、不適切なメンテナンスや保管による損傷;
 - 落下や不適切な設置による損傷;
 - Marelux非公認の業者やサービスセンターによる修理、メンテナンス、分解、改造、清掃による損傷;
 - 正規のMareluxシリアル番号がない製品、またはシリアル番号が消去・改ざん・偽造された製品;
 - Marelux推奨以外の他社製アクセサリ・部品(フラッシュトリガー、ケーブル、ドームポート、エクステンションリング、コンバーターなど)の使用による損傷;
 - 人為的な誤用・不適切な取り扱い、または天災その他不可抗力による損傷;
 - ハウジングやアクセサリの未清掃による腐食が原因の故障・損傷。
4. バッテリー、潤滑剤などの消耗品は保証の対象外です。
5. 保証修理でハウジングおよびアクセサリから取り外された部品はすべてMareluxに帰属するものとします。
6. Marelux製品の使用に起因する付随的損害や経済的損失(製品使用者に関連する収入や費用など)について、Mareluxは責任を負わず、補償も行いません。

- 保証は、販売代理店・販売店のサービス提供地域内で販売された製品にのみ適用されます。
- レンタル事業用に購入・使用された製品は保証の対象外です。
- 無許可の修理・改造が行われた場合、直ちに保証が無効になります。

上記の保証条件は、Marelux製品ユーザーが無償の保証サービス・修理を受けるためのものであり、お客様が本来有する法的権利を制限するものではありません。

CE FCC RoHS

中国製